

第51号

自分たちのまちは自分たちで守る！



# 自防連だより

「自防連だより」は、共助の大切さとともに地域防災力の向上を推進するための、市内各自主防災団体の情報交換の場です。

## 感染防止対策を徹底して3年ぶり 令和4年度定期総会を対面形式で開催

### 感染防止対策を講じて

令和4年（2022年）5月25日（水）、八王子エルシィにおいて、八王子市自主防災団体連絡協議会定期総会が3年ぶりに対面形式により開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が未だ危惧される中での開催となったため、会場である八王子エルシィの協力のもと、ソーシャルディスタンスの確保や会場内の換気及び飛沫防止板の設置等、会場内の感染防止に取り組みました。また、受付には手指消毒液のほか、自動体温測定器を設置するなど、コロナ禍においても継続的な事業が運営できるよう、ウィズコロナを意識した運営に取り組みました。



定期総会開会宣言を行う遠藤会長

### 令和4年度事業計画（案）が承認

総会には、出席100団体、委任状207団体、合計307団体により、全ての議題が承認されました。総会閉会后も各自主防災組織の出席者同士で活発な意見交換が行われる等、3年ぶりの対面方式による総会は、共助の連携が促進される有意義な会議となりました。出席いただいた各団体につきましては、定期総会での熱意あるご審議、誠にありがとうございました。



3年分の熱意ある総会の様子

### 令和4年度定期総会議事

- 1 令和3年度事業報告
- 2 令和3年度収支決算報告  
及び会務・会計監査報告
- 3 令和4年度事業計画(案)
- 4 令和4年度収支予算(案)
- 5 その他報告事項等

## 1 令和4年度各事業のお知らせ

今年度は、自防連事業では初めての研修先となる施設が2施設あります。「気象科学館」と「池袋防災館」です。どちらも八王子市からは距離がある施設で、訪れたことがない会員の方も多いのではないでしょうか。

今回は、8月18日（木）に実施予定の視察研修先である気象庁気象科学館の紹介をします※。この施設では、気象観測機器の歴史から最新の災害予報・監視システムを見学することができ、緊急地震速報や火山監視など、防災に直結した内容を学習できる施設です。また、日々の天気予報を支える気象観測の裏側から環境問題まで、多様な展示コーナーが凝縮されています。

今回の視察研修では、気象科学館の見学に加え、在籍する気象予報士による講義があり、出水期における水防活動に役立つ知識を習得することができます。

なお、気象科学館は予約不要で見学することができます。近年多発する大雨等による災害に備え、ぜひ気象科学館を訪問し、学習にお役立てください。

※視察研修（気象庁気象科学館）の募集は7月15日で終了しています。



## 令和4年度事業計画（予定）

※災害時や新型コロナウイルス感染症等の影響により、実施日等の変更、事業規模の縮小又は中止とさせていただきます。

令和4年	事業名	実施場所等
8月18日（木）	気象庁視察研修	気象科学館（港区）
9月3日（土）	本所防災館研修	本所防災館（墨田区）
9月17日（土）	防災指導員育成研修会（第1回）	八王子市役所
10月15日（土）	特別救命講習会（第1回）	八王子市役所
11月9日（水）	東京電力視察研修	新多摩変電所（八王子市）
11月13日（日）	特別救命講習会（第2回）	八王子市役所
12月17日（土）	防災指導員育成研修会（第2回）	八王子市役所
令和5年		
1月22日（日）	池袋防災館研修	池袋防災館（豊島区）
2月5日（日）	防災指導員育成研修会（第3回）	八王子市役所
3月4日（土）	リーダー養成研修	八王子市役所



自主防ネット

## ～備える・つながる地域の防災力を UP～

南大沢地域自主防災協議会

南大沢中ブロック 高橋 今日子

### 1 南大沢地域自主防災協議会発足の経緯と特色

南大沢地域の自主防災協議会は、東日本大震災の発生から2年後に「避難所開設・運営には学校と地域の連携が必要」と、当時の南大沢中学校校長の提案により、青少年対策委員会と3校学校運営協議会（南大沢小学校・柏木小学校・南大沢中学校）で協議を重ね、連絡協議会、町会、おやじ会の協力を得て2013年に立ち上げた防災世話人会を元として、2014年に発足、活動を開始しました。学校区ごとにブロック分けし、現在地域ボランティア約10名と3校の校長、副校長にて定期的に協議会を開催しています。そして、年に1度合同で避難所開設・運営訓練を実施しています。

### 2 コロナ禍での活動内容

新型コロナウイルスが感染拡大し始めた令和2年度は、コロナ禍でも止めない防災活動を実施しました。まずは“地域を知って正しく備える”ために東京都立大学の市古太郎教授とゼミの皆様にご協力いただきながら、近隣の自主防災会担当者と子どもたちも参加し、「防災まちづくりオリエンテーリング」を実施。こちらに基づき「防災まち点検マップ」を作成しました。

翌、令和3年度は近隣自主防災会との情報交換会や南大沢中学校での防災授業「自分と家族の命を守るために今すぐできること」を開催。また“自分ごととして防災を認識してもらう”ために情報発信に力を入れ、防災便りや点検マップの配布をしました。

### 3 今後の展望

今年度は各ブロックの課題の解決に向けた取り組みに注力し、防災力を高める活動を進めていきます。未来の防災の担い手となる子どもたちへの授業も引き続き実施していく予定です。また、より多くの住民へ情報を届けるため、4月よりTwitterでの発信も開始しました。地域情報メディアの「由木マルシェ」や南大沢町会HPへの掲載協力、外国人住民に向けた情報発信など広範囲への情報到達を目指します。



防災授業の様子



防災まちづくりオリエンテーリング  
南大沢給水所にて

南大沢地域自主防災協議会  
南大沢中ブロック twitter  
@bousai373030



南大沢地域 自主防災協議会



## 2 首都直下地震等による東京の被害想定が見直されました

東京都では、この10年間の様々な社会変化や最新の科学的知見を踏まえて、令和4年5月25日、10年ぶりに首都直下地震等発生時の被害想定が見直されました。被害想定全体像としては、都内で最も大きい被害が発生すると予想される「都心南部直下地震」において、全壊や焼失といった建物被害が約19万棟、死者は約6千人とされ、平成24年度に策定された前回の被害想定と比較すると、建物被害は約11万棟減少し、死者は約3千人減少するとの想定です。これは建物の耐震化や不燃化が進展したことが要因とされており、そのほかにも上の図表のとおり、防災対策による被害軽減の効果が推計されています。共助の視点で見ると、住民同士のつながりが希薄な地域では助け合いが進まず、避難所の運営や物資の配分等で混乱が生じる一方、日頃から防災訓練等を行っているつながりが強い地域では、救出救助活動、避難所内のスペースの配分や物資の配布等が円滑に行われる、との期待も想定されています。本被害想定における展望として、「大規模地震の被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりや地域、事業者など社会全体での取組が不可欠である」との指摘もされ、共助の重要性が伺えます。

### 過去10年間の取組による減災効果(都内全域)

- ・建物全壊棟数 約12万棟→約8万棟
- ・揺れによる死傷者 約5,100人→約3,200人
- ・燃失棟数 約20万棟→約12万棟
- ・火災による死傷者 約4,100人→約2,500人

詳細は東京都ホームページをご参照ください。



## 3 熱中症に気を付けましょう

これから、気温が上昇し蒸し暑くなる季節を迎えます。暑さに体を徐々に慣らしておくなど、夏本番前から熱中症の対策をしておきましょう。

特に、夏場の防災訓練は、ケガ防止のため手袋やヘルメットを装着していたり、長袖長ズボンといった服装であることから、熱中症になってしまう可能性があります。注意しましょう。

### 熱中症対策と応急手当

熱中症の対策	熱中症になってしまったら…
1 暑さに体を慣らす	1 涼しい場所へ移動する
2 早めにこまめに水分補給	2 体を冷やす
3 高温・多湿・直射日光を避ける	3 水分補給をする

### 八王子自防連 防災川柳

大災害  
力を合わせて  
乗り越えよう

防災川柳を募集します。防災で感じたことを川柳にしてみませんか。応募は事務局まで。

八王子市自主防災団体連絡協議会事務局 八王子市役所2階防災課内

電話 042-620-7207 FAX 042-626-1271

メール: b210300@city.hachioji.tokyo.jp